

「わたしたちができる防災対策」

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話 8
- know「農」 12
- カルチャー 13
- 町の情報ひろば 14
- 素敵人 16

みなさんの防災意識を高めましょう。



町の花(春) 桜

町の花(秋) コスモス

町の木 梅

●編集発行/上毛町役場企画情報課

〒871-0002

福岡県築上郡上毛町大字垂水1-3-2-1-1

TEL 0979-723111

FAX 0979-724664

●印刷/築上印刷舎



9月1日は防災の日です。みなさんの防災意識を高めましょう。



みなさんの生命と財産を守るため、いち早く現場に駆けつけ、身をたてて消防防災活動に当たっている上毛町消防団。今月は、昭和54年に入団し、平成21年からは、上毛町消防団第3分団の分団長として活躍している藤本久雄さんを紹介しします。

地域に貢献するという精神で、消防団活動に取り組んでいます。

上毛町消防団 第3分団長
藤本 久雄さん(西友枝)

分団長になって感じたことは、「責任」です。分団長として何が出来るかが私のテーマでした。当初は、心配ばかりする毎日でしたが、本部役員をはじめ団員から協力を得て、様々なことを学び、気持ちが変わってきました。

第3分団は、西友枝・土佐井地区に居住する20名の団員で構成されています。各団員は本業を持ちながら、西友枝・土佐井を拠点とし、『自分たちの地域は、自分たちで守る』という思いを持ち、地域の安全・安心のために、消防団活動に取り組んでいます。

火災時など出動要請がかかると「一刻も早く現場へ」という思いから、団員は無我夢中で行動します。そのため私は分団長として団員の安全確保を第一に考え、危険を伴う現場において、皆が訓練で培った消火活動を冷静に行えるよう指導しています。

分団では、年3回の定期的な訓練に加え、いつ火災が起こっても対応できるよう機械器具の点検・整備を月に1回程度行っています。また、8月15日には西友枝地区の花火大会での警戒活動を毎年行っています。

多くの火災現場を見てきましたが、そのたびに恐ろしさを改めて実感し、「何とか防ぎ手立てはなかったのか」と胸が痛くなります。まずは火災を起こさないことが大切だと考え、消防団では独居老人の家庭を中心に防火対策の呼びかけなどの活動も地道に行っています。

また、西友枝地区は山林を多く抱えており、春の野焼きのシーズンでは山火事に特に注意が必要です。

分団長としての経験は自分の人生にとって貴重なものです。地域への貢献の精神で消防団活動に取り組み、今後の人生に活かしていきたいと思っています。



人の動き

7月31日現在

- 人 □ 8,073 (-23)
- 男 性 3,825 (-19)
- 女 性 4,248 (-4)
- 世帯数 3,078 (+2)

参考

- 平成17年10月1日
合併時
- 人 □ 8,499
 - 世帯数 3,057

ごみの量

7月31日現在

- 可燃ごみ 126.51t (-12.26t)
- カン・ペットボトル 3.29t (-0.38t)
- びん 5.23t (-0.54t)
- 古紙他 14.29t (-5.45t)
- 可燃粗大 1.78t (-0.04t)
- 不燃 6.22t (+0.04t)
- プラスチック製容器包装 1.86t (+0.01t)
- 紙/バック、白色トレイ 0.09t (+0.03t)

9月の表紙

表紙の写真は、「上毛町消防団合同訓練」です。

7月31日(日)、団長をはじめ各分団合わせて70名の団員が参加して、大規模火災において、使用できる水源が限られた状況を想定した、遠距離中継送水訓練を牛頭天王公園で実施しました。

京築広域圏消防本部の指導を仰ぎながら、山国川から消防車両2台で給水し、小型ポンプや30本程度の消防ホースで500mの中継送水、無線機による指示のもと2台の消防車両から放水しました。

火災は、いつでもどのような状況で起こるかわかりません。想定外の災害では、各分団と消防本部の連携が特に必要となり、こうした訓練が大切になります。各団員は災害に備えて真剣かつ迅速に取り組み、気合の入った掛け声とエンジン音が公園内に響きわたりました。

こんにちは。企画情報課の穴田大介です。

編集後記

9月1日は、「防災の日」です。なぜこの日が「防災の日」になったのか、皆さんご存知でしょうか。それは、この日が今から86年前の1923年(大正12年)に「関東大震災」が起きた日にあたること、また、立春から数えて210日目にあたり、昔から台風など災害が多い日だと言われていたことに由来しているようです。

「関東大震災の教訓」を忘れないように、そして「災害への備え」を怠らないようにとの戒めを込めて制定されたのが「防災の日」なのです。

今年に入って、死者行方不明者合わせて2万人を超える被害をもたらした「東日本大震災」が発生し、7月には新潟・福島で1時間に100ミリ前後の猛烈な雨が降り続き、多くの被害をもたらしました。

災害から自分自身や自分の家族を守るためには、日頃からの備えが重要です。皆さんは、普段どのような備えをしていますか。「防災の日」をきっかけに、家庭で災害への備えについて話し合いませんか。